

高等学校第2学年 家庭基礎学習指導案（略案）

対 象 東京学芸大学附属高等学校

2年生

授業者 野澤 風沙

1. 題材名 生活設計(1)/経済計画 消費生活

（教育図書「家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来」p6～9/p183～208）

（A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) イ / C 持続可能な消費生活・環境 (1) ア・イ）

2. 題材の目標

家計の構造や家計管理について理解し、ライフステージや社会保障制度などに関連づけて考察をすることで、生活設計を工夫し、生涯を見通した自己の生活について主体的に考えることができる。

3. 単元指導計画と実施時期（全7回）

回	○学習内容	☆評価物	※実施 時期	※実施 時間
1	○18歳成人に伴う変化と注意点について学習する ○ライフイベントと必要な資金について学習する	☆ワークシート、考査	4～5月	30分
2	○家計管理とライフプランニングの関係を考え、簡単なライフプランを考える ○主要な金融商品の特征について学習し、それぞれの特征について理解する	☆ワークシート、考査、グループワークの状況	5月	50分
3	○資産形成に関し、実際の金融商品の活用方法やその手段、考え方について理解する（外部講師による授業）	☆ワークシート	6月	50分
4	○日本の社会保障制度とその構造について学習し、自分のライフプラン・ライフイベントと社会保障制度が生涯にわたって関わっていることを理解する	☆考査	9月	50分
5	○生活設計とリスクについて学習し、自分のライフプランを考える上でリスクに備える、リスクマネジメントの必要性について考える	☆考査、グループワークの状況	12月	20分
6	○生活設計シートを作成し、資金計画、リスク、雇用形態など、様々な面から自分自身のライフプランについて考える	☆生活設計シート	12月～1月	家庭学習
7 （本時）	○生活設計シートについて振り返りをする ○生涯を見通した計画的な資金計画が必要なことを踏まえ、自分のライフプランに応じた金融商品の活用方法について検討する	☆生活設計シート、ワークシート、グループワークの状況	1月	20分

※表中に示した学習内容は、本年度の授業のうち生活設計シートの作成に関わる内容を記載している。そのため、実施時期が様々であるほか、1コマ（50分）で実施しているものもあれば、1コマのうちの一部で行っているものもある。詳細については、実施時期・実施時間の欄を参照されたい。

4. 本時の展開（7/7時間目）

(1) 本時の目標

ライフプランに基づいた生活設計を行うことを通し、今後の人生に必要な資金と生涯の資金計画について考え、様々な制度や金融商品の使用について検討する。

(2) 本時の展開（30分）

	時間	○学習活動 ・具体的な学習内容	*指導上の留意点 ☆評価
導入	10	○作成した生活設計シートの概要を班員に発表する ・雇用形態、家族構成、住居、車両、子どもがいる場合は学校種別等の概要について、班員説明をする	*プライバシーに関わる内容であることから、発表をしたくない者はしなくて良いことを伝える ☆【主】自分の生活設計シートについて説明できる
展開	5 3	○自分が作成した生活設計シートを振り返り、収支が赤字になるタイミングを確認し、対策を考える ・赤字になるタイミングに備えてできるリスクマネジメントについて考える ・振り返りの内容を班で共有する	☆【知】具体性を持った生活設計シートが作成できている（生活設計シート） *資金計画の一つの手段として金融商品をいっつどのようになどれくらい支出するか、またはしないかについて考えさせる ☆【思】リスクマネジメントの方法について考えることができている（ワークシート）
まとめ	5 7	○今回のシートの特徴について理解する ○生活設計に関する学習のまとめ及び振り返りを行う	*今回は授業者自作の生活設計シートであったため、以下の点に注意が必要であることを伝える。 ・各種手当や控除が考慮されていない ・収入や支出（社会保険料、車両費、住居関連費、教養娯楽費、生活費等）は平均値を用いている *生活設計に関する今年度の学習全体を通して考えたことについて振り返るよう伝える ☆【思】自分の生涯に見通しを持ち、計画的な資金計画が重要であることを理解し、考えることができている（ワークシート）